

学校経営の概要

本県学校教育が目指すもの 「豊かな人間性を育む学校教育」

- I 思いやりの心を育てる
- II 心と体を鍛える
- III 基礎学力の向上を図る
- IV 教師の力量を高める

中央地区学校教育の重点

- 1 学校教育目標を具現する教育課程の編成と運用
- 2 思いやりの心やたくましい心と体の育成
- 3 主体的に学ぶ力を育成する学習指導の充実
- 4 教職員一人一人の力量と学校の組織力の向上を図る研修

由利本荘市学校教育の基本目標

「人間性豊かで進取の気性に富む、たくましい子どもの育成」
～科学的な探究心を育み、確かな学力を身に付けさせる教育の推進～

《学校教育目標》

誇り高く ～豊かな学び・よりよい生活・思いやりの心～

《目指す子どもの姿》

(1) 「知恵いっぱい」	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてをもって、主体的に学び続ける子ども ・学び合いに積極的に取り組む子ども ・深く考え、粘り強く学び通す子ども
(2) 「元気いっぱい」	<ul style="list-style-type: none"> ・何事も最後までやり抜こうとする子ども ・進んで運動を行い、体を鍛える子ども ・働くことに喜びを感じることでできる子ども
(3) 「やさしさいっぱい」	<ul style="list-style-type: none"> ・他人の立場に立って行動できる子ども ・きまりを守り、互いに協力し合う子ども ・豊かな心、感動する心をもつ子ども

児童テーマ 『あいさつを交わし合い おいしく給食をいただき 笑顔で帰る』

《目指す学校の姿》（鶴城教育の実践）

- (1) 子どもたちが生き生きと活動し、成長を実感できる学校
- (2) 目指す授業づくりを追究する研究と、その実践を大切にする学校
- (3) 子ども・保護者や地域・職員が、共に満足感をもつことができる学校

《本年度の経営重点》（学校経営戦略）

- (1) 「知恵いっぱい」（学力の向上と“「問い」を発する子ども”の育成）
 - 子どもの問いや願いを基にして、教科横断的な単元構想や、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を生かした学び合いを工夫することによって、「思いや考えが伝わるように表現する力」、「関わり合って考えを広げたり深めたりする力」を育てる。
- (2) 「元気いっぱい」（秋田の将来を支えていく人材の育成）
 - いろいろなことに挑戦する機会を設定し、自己の力を確かめ、さらに高めていけるように支援していく。
 - 地域に根ざしたキャリア教育を推進し、地域の産業に関わる学習活動を工夫していく。
- (3) 「やさしさいっぱい」（自他を尊重する心の醸成）
 - 学級づくりに力点を置き、心のかよい合う学級を育てるとともに、児童の居場所づくりを全教職員で実践する。
 - 特別活動、特に児童会活動を充実させ、互いに協力し合い、高め合う集団をつくっていく。

項目横断的重点事項

- あいさつに重点を置き、元気で心のこもったあいさつができる子どもを育てるとともに、地域や南中学校と協力してあいさつ運動に取り組んでいく。

今年度の道徳教育の全校重点 B（6）友情，信頼